

大阪城

2025

12/18

(木)

14563

号

全港湾

西成分会

2247

6647

4947

今年も10日少しになってきました。寒さもジワジワとくつかえながら厳しさも増してくると思われまします。街ではカゼインフルエンザが流行っていて、地下鉄でもマスク姿がふえています。

昨日は、東京では国会がしまりました。

18、19日の補正予算が決まりました。会期の延長か?とか、高市政権のアンケート調査では、支持率が高いので、今のうちに解散・総選挙を?とかうわさがありましたか。普通に終わったようです。

自民党の議員の数が少ないので、維新(日本維新の会)と連立をくずさず党をやっています。その、

くつつくための、一番の条件なり目的が国会議員の定数をへらすことでした。議員のノ割、小選挙区に25人、比例で20人へらすと自民・維新は約束して法案を出していましたが、議論など一つもできず、なんの進展もありませんでした。維新は怒って連立を解消するか?とかいわれたりしていました。たが、ニコニコして来年春までにやりますとか言っている人びりした風景になっています。少数党、多党化の流れになっいて、ゴソゴソ、クマクマした政治になっています。世界の土台の物質世界は大転換をいって、政治が浮いていす。

今日^(12/18)、明日と「金利の番人」といわれる日本銀行が定例会議をひらき、現在0.5%の政策金利をひき上げて、0.75%にするのびはないかと注目されているところです。

失敗したアヘノミクスが立派であつて、良かったといひ、今も、これから安倍政をひきつ、こうとする高市政権としては、金融緩和、低金利、金融ジャブジャブ良しとしたいので、日銀の金利引き上げには、反対の立場だろう……とは多く予想されてはいる。現実経済では、円安が止まらず、1ドル15円あたりをうろうろしていて、そのため輸入品が高くなり食料品などインフレ、物価高が続いている。

その流れも変えるためにも、日本の金利を上げる必要があるといわれている。日銀の判断は明日の発表をまつとして、今、日本経済が多くの弱点や問題を生み出している。高市政権がそれらに無自覚なため、円の信用、日本の財政に対する信用がなくなってきたといわれる。どう動いていくだろうか。

★この「天阪城」も、年末になり、来週^(12/25)14564号で、今年には最後になります。年明けは、^{1/8}^(木)から出発します。来年も、また、よろしくお願ひします。